

ごうつ

市議会だより

川波小学校 6年 和田明桜吏



2022.11
No.153

「島根スサノオマジック夢事業で学ぶ児童たち」(川波小学校5・6年生)

令和4年第3回臨時会

令和4年度 一般会計補正予算 (3号)

コロナ禍における物価高騰対策や経済対策費を計上。

補正予算額 **6855万円**(補正後総額159億4814万円)



ごうつ地域応援券

配布額を3000円から
5000円へ増額

4719万円

物価高騰に伴う給食費支援

保育施設対象 586万円
学校施設対象 1549万円

2135万円

令和4年第4回定例会

令和4年度 一般会計補正予算(4号) 8月8日 専決処分

7月19日に発生した大雨による災害に対する補正
予算を計上。

補正予算額 **3972万円**(補正後総額159億8786万円)



林地崩壊防止事業

裏山崩壊1カ所復旧工事費

700万円

災害復旧費

農業用施設 150万円
林業施設 460万円
農地 472万円
公共土木施設 2190万円

3272万円

令和4年第4回定例会

令和4年度 一般会計補正予算 (5号)

市長改選後の肉付け予算、人事異動および
令和3年度決算の調整を計上。

補正予算額 **3億8575万円**(補正後総額163億7362万円)



戸籍住民基本台帳費

住民票の写しなどのコ
ンビニ交付に必要なシ
ステム構築費用

3301万円

地域医療支援対策

医療機器(心臓血管造影装置)
整備支援

1億円

西部統合小学校建設

建設候補地調査委託料

870万円

災害対策費

桜江地区防災資機材格
納庫および川戸分団消
防ポンプ格納庫建設

2167万円

国の物価高騰対策として実施する給付金および
新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費を計上。



補正予算額 **2億7259万円**(補正後総額166億4622万円)

住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金

電力・ガス・食料品など
の価格高騰に対する給付
金(1世帯あたり5万円)

2億738万円

新型コロナウイルス ワクチン接種

新型コロナウイルスワクチン
の追加接種に必要な経費

6521万円

委員会

ピックアップ



総務民生委員会

●請願「地方財政の充実・強化を求める意見書の提出」

社会保障制度の整備・地域活性化対策・環境対策・行政のデジタル化推進など、地方自治体に求められる多岐にわたる役割をはたすため、地方財政の充実・強化を求めるもの

質疑

問

本市の定員管理計画との整合性は。

答

本市の定員管理計画では、毎年必要な職員数について計画を立てている。

●職員の育児休業等に関する条例(一部改正)

育児休業等に関する法律の改正に伴い、本市非常勤職員の休業取得要件の緩和など、必要な条例の改正を行うもの

質疑

問

正規職員と非常勤職員とが夫婦交代で、との説明だが、そのような事例があるのか。

答

それぞれの家庭の状況によるが、2回取得できるようになったため交代で取得するケースも考えられる。

建設経済委員会

●陳情「インボイス制度の実施の5年間猶予を求める意見書の提出」

インボイス制度の実施の5年間猶予を求める意見書を政府および関係機関に対して提出を求めるもの

質疑

問

制度実施にあたり、市として、どのような業務が出てくるのか。

答

適格請求書発行事業者としての登録申請が必要になる。運用開始に向け、システム改修を行う。

●乳幼児等医療費助成条例及び子育て支援条例(一部改正)

名称を子ども医療費助成条例に改め、助成対象を18歳までとする。また小中学生に対する入院時食事代の助成を廃止するもの

質疑

問

コンビニ受診が増える懸念があったが、対応は。

答

制度の周知に合わせ、医療費は、多くの皆さんの負担で賄われていることを理解してもらい、抑制を図りたい。

令和3年度

決算認定

新型コロナウイルス感染症への対策を最優先とし、重要課題である人口減少対策の推進に重点を置き編成した令和3年度の執行状況を審査。
(委員長／河野正行 副委員長／渡辺信明 委員／議長・監査委員を除く全議員)

令和3年度 一般会計・特別会計の決算状況			水道事業会計の決算状況		
会計名		歳入総額	歳出総額	収入総額	支出総額
一般会計		186億5481万円	178億5748万円		
特別会計	国民健康保険事業	32億8578万円	32億4612万円	収益的収支	9億1039万円
	国民健康保険診療所事業	199万円	198万円		7億7375万円
	後期高齢者医療事業	8億1376万円	8億1309万円	資本的収支	
	公共下水道事業	9億2243万円	8億9772万円		
	農業集落排水事業	3億 229万円	2億8860万円		2億5764万円
					4億8220万円

新庁舎建設

1億7493万円

システム移設業務委託、庁舎移転業務委託、備品購入費。

委員質疑

問 令和3年度の多目的ホール（議場）および委員会室などの議会以外での使用実績は。

答 議会以外での使用実績は87回、そのうち市民利用は2回。コロナの状況を踏まえながら、市民の利用を進めていきたい。



多目的ホール

新世代事業

5億9177万円

市内の光ファイバ未整備地域に国の「高度無線環境推進整備事業」を活用し、光ファイバ伝送路を市内全域に整備。

委員質疑

問 江津市内の光ファイバの整備率および接続状況は。

答 江津市内全域で光ファイバを利用したインターネット利用は可能。接続状況は把握していない。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金

3億768万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう住民税非課税世帯などに対して、臨時特別給付金を支給。

子育て世帯臨時特別給付金

3億23万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する取り組みの1つとして、低所得者層に限定せず、中間所得者層も含め、児童手当受給世帯に対して臨時特別給付金を支給。

サテライトオフィス等整備推進

9219万円

サテライトオフィスの開設やテレワークを活用した取り組みを進め、地方への新しい人の流れを創出。



コワーキングスペース

委員質疑

問 民間のサテライトオフィスに入っている株式会社 Argnai (アルナイ) の状況は。

答 株式会社SUKIMONOと共に有福温泉再生に関わり、計画づくりに取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症対策費 (商工振興費)

2億2715万円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内事業者に対する事業継続の支援や地域経済活性化を図る。

新型コロナウイルス感染症対策費 (災害対策費)

1496万円

新型コロナウイルス感染症対策のため、避難所に備蓄する対策物品などを収容する防災倉庫と駐車場の整備。



桜江中学校に設置した防災倉庫

新型コロナウイルス ワクチン接種

1億6937万円

新型コロナウイルス感染症の蔓延を防止し、市民の生命および健康を守るため、ワクチン接種を実施。

学校空調整備

2585万円

全国的に酷暑が続き、熱中症で倒れる児童生徒が増える中、主な特別教室へエアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくる。

委員質疑

問 令和3年度、市内小中学校における熱中症の状況は。

答 熱中症(疑いを含む)により保健室を訪れた児童生徒数は89人。救急搬送された児童生徒はいなかった。

私立保育所施設整備補助

9804万円

健全な保育の確保を推進するため、保育施設の整備または改修に対して補助金を交付し、施設の経営安定を支援。



波子保育所

都市再生整備計画

1億3999万円

都市再生整備計画を基に、道路・公園・広場などの都市基盤施設と公営住宅の整備・充実を図る。

落石対策

320万円

道路防災総点検の危険箇所および落石が頻繁に発生している箇所について安定度調査を行い、調査結果をもとに実施した災害防除工事。

委員質疑

問 道路防災総点検での要対策力所に対する進捗率は。

答 令和4年3月末時点での要対策力所は84カ所、対策済み18カ所で進捗率は21%。

本会議における賛成・反対意見

請願第2号 | 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

採択

反対 森川 佳英

請願は、政府予算で地方自治体の財政充実を求める意見書の提出を求めるものだが、前提として国が強引に進める「行政のデジタル化」を無批判に受け入れている。この「デジタル化」は、自治体を持つ個人情報、企業の儲けのために提供するもので、そのためにシステムの平準化を図り、各自自治体独自の福祉などの制度を抑制し、人員削減を強要するもの。それを認めるわけにはいかないため反対。

賛成 植田 圭介

請願は、社会保障制度の整備・地域活性化対策・脱炭素化をめざした環境対策および今後の住民サービス提供に必要な不可欠な行政のデジタル化の推進など、自治体に求められる多くの役割を果たすために、地方の財源が確保されるよう国に対して意見書の提出を求めるもの。地域公共サービスについて熟知する職員団体が必要とする要望事項を挙げたものであり、地域公共サービスの充実に資することから賛成。

陳情第2号 | インボイス制度の実施の5年間猶予を求める意見書の提出について

不採択

反対 寺前 克宏

インボイス制度が導入される目的は、消費税額を正確に把握し、消費税の透明性や公平性、信頼性を高めるためであると考え。制度の導入にあたり、事業者の事務処理作業は煩雑となり大きな負担となることは理解できる。また、さらなる周知や理解の促進などは必要である。しかし、令和4年度税制改正大綱で、経過措置を延期して、令和11年9月30日の課税期間においても、途中からの登録を可能にするとされ、適格請求書発行者への登録の可否、および準備期間がある程度確保できたと考え反対。

賛成 森川 佳英

陳情は、消費税のインボイス制度導入の5年延期を求める意見書の提出を求めるもの。インボイス制度は消費税率を上げずに消費税収を上げる仕組みであり、制度が導入されれば、市内事業者の負担は増大し、約700の事業者が影響を受けることとなり、商売が続けられなくなる可能性がある。市内事業者からの助けを求める声に応じるべきであり賛成。

賛成 植田 好雄

新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻、原材料価格やエネルギー価格の高騰など、制度の導入が決まった時には想定されていなかった事態が発生しており、中小零細企業や個人事業主の経営が厳しいこの時期にインボイス制度の導入は延期するべき。消費税額を正確に把握するだけなら、2つの税率でなく1つにすれば対応できる。国の施策として決まっているから「仕方ない」でなく、地域の事業者のためになるかの視点が重要であり、賛成。

議案第47号 | 令和4年度一般会計補正予算(第5号)

可決

反対 多田 伸治

補正予算案には、西部統合小学校建設の調査費用が計上されているが、10年店ざらしの計画を進めるにあたって、地域や保護者への説明・報告を行うのかとの問いに、「予算案とは関係ない」と答弁した。過去に1342万円を調査費として支出し、再出発しようという事業で住民の意向を尊重しない態度はありえない。行政のやり方に住民を従わせるやり方には反対。

賛成 坂手 洋介

市長改選後の肉付け予算と位置づけられるもの、人事異動に伴う職員人件費の調整、および令和3年度決算に伴うものについて計上している。地域医療対策、防災対策、行政のDX、そして西部統合小学校の建設候補地調査委託料などである。これらは、本市における重点課題に対して、市長の公約である「江津のひとをもっと笑顔に」「江津のまちをもっと豊かに」「江津のしごとをもっと魅力的に」という3つの約束を踏まえた補正予算の編成であると考え賛成。

認定第1号 | 令和3年度一般会計歳入歳出決算

認定

反対 森川 佳英

総合戦略での4つの目標に重点が置かれたが、市内事業者の後継者対策が不十分で地域資源の活用が進んでいない、地元就職の推進が不十分、子育て支援で重要な保育士の確保ができていない、交通弱者対策の生活交通も進まないなど問題がある。また、予算計上したものの使われなかった額は8億7617万円、基金残高は58億8851万円に上り、財源が有効に活用されていないため反対。

反対 多田 伸治

防災対策であるはずの庁舎建設が津波被害を想定していない。貧困対策が「相談があれば対応する」と福祉の精神のないものだった。「街路灯を増やして」との中学生からの要望に全く応えていない。生活交通は御座なりで充実がない。桜江町川越の防災施設建設では、昭和47年災の浸水水位が考慮されていない。これらを含む問題点が多数あり反対。

賛成 下谷 忠広

今回の決算認定は、新型コロナウイルス感染症への対応・対策、限られた予算の中で優先度を見極めた事業を実施している。また、現地での視察や大量の資料をもって説明・証明を受けた。さらに予算執行が行われた結果、令和3年度は黒字となっており賛成。

認定第2号 | 令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

認定

反対 多田 伸治

保険料軽減世帯が68.7%に上り、コロナ禍や物価高騰の影響を受ける被保険者世帯に、有効な対策が届いていない。その状況で貧困対策は「相談があれば対応する」と消極的。保険料については据え置いたものの、そもそも7割が軽減を受けざるをえない状況であり、保険料が高過ぎる。一番身近な行政として、国保運営を改善すべきであり反対。

賛成 坂田 優美

令和3年度において市町村事務処理標準システム導入がされた。本市の国民健康保険事業が行う給付金事業や市民に必要な保健の向上に寄与する人間ドックなどの事業事務など円滑に実施されており賛成。

認定第4号 | 令和3年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

認定

反対 多田 伸治

保険料軽減対象者が69.0%に上り、高齢者の貧困は深刻な状況。しかし、貧困対策では「相談があれば対応する」と御座なりな取り組みとなっている。保険料負担の軽減を図る努力も十分とは言えないため反対。

賛成 森元 健二

島根県の後期高齢者医療制度は、県内すべての市町村が加入する「島根県後期高齢者医療広域連合」が主体となって運営している。市町村は保険証の引き渡し・申請の届け出受付・保険料の徴収などが主な業務だが、新型コロナウイルスによる減免申請の手続きや、徴収猶予など個々にきちんと対応されており賛成。

認定第5号 | 令和3年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

認定

反対 多田 伸治

下水道の本管である管渠の整備に3億5108万円を投入し、それを賄うために一般会計から2億5861万円を繰り入れているが、下水道への新規接続は56戸に過ぎず、合併浄化槽への補助と比較しても、事業効率が非常に悪い。繰り入れはこの先4年で10億円に上る見込みだが、効率の悪い施策は見直すべきであり、無駄な管渠整備を続ける決算には反対。

賛成 渡辺 信明

島根県生活排水処理ビジョンに基づいて実施されており、人口や面積などを考慮し、進められている。一般会計から繰り入れが行われているが、国の繰出基準に基づき実施されており、各種事業において、いずれも適切に処理されている。また、接続率についても、徐々にではあるが上昇しており、居住環境を改善し、河川の汚濁防止など水質保全を図るために必要なものであり賛成。

○:賛成 ●:反対 △:欠席

議決結果【第3回議会臨時会】			森元	植田	渡辺	坂田	寺前	下谷	坂手	植田	鍛冶	多田	山根	森川	森脇	石橋	河野	藤間
			健二	圭介	信明	優美	克宏	忠広	洋介	好雄	恵巳子	伸治	兼三郎	佳英	悦朗	孝義	正行	義明
提案部	議案第40号	令和4年度島根県江津市一般会計補正予算(第3号)を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1

議決結果【第4回議会定例会】			森元	植田	渡辺	坂田	寺前	下谷	坂手	植田	鍛冶	多田	山根	森川	森脇	石橋	河野	藤間
			健二	圭介	信明	優美	克宏	忠広	洋介	好雄	恵巳子	伸治	兼三郎	佳英	悦朗	孝義	正行	義明
執行部提案	同意 第5号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	同意 第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	承認 第9号	専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第41号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第42号	江津市乳幼児等医療費助成条例及び江津市子育て支援に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第43号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第44号	江津市企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第45号	市道の路線の廃止について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第46号	市道の路線の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第47号	令和4年度島根県江津市一般会計補正予算(第5号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	△	●	○	●	○	○	○	
	議案第48号	令和4年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第49号	令和4年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第50号	令和4年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	※1
	議案第51号	令和4年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第52号	令和4年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第53号	工事請負契約の締結について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	議案第54号	令和4年度島根県江津市一般会計補正予算(第6号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	認定 第1号	令和3年度島根県江津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	△	●	○	●	○	○	○	
	認定 第2号	令和3年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	●	○	●	○	○	○	
	認定 第3号	令和3年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	認定 第4号	令和3年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	●	○	●	○	○	○	
	認定 第5号	令和3年度島根県江津市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	●	○	●	○	○	○	
	認定 第6号	令和3年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	認定 第7号	令和3年度島根県江津市水道事業会計決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
	認定 第8号	令和3年度浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
請願	請願 第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	△	●	○	●	○	○	○	
陳情	陳情 第2号	インボイス制度の実施の5年間猶予を求める意見書の提出について	不採択 ※2	●	○	●	●	●	●	○	△	○	○	○	○	○	○	●

※1 議長職は表決権なし

※2 可否同数により議長裁決(地方自治法第116条第1項)

一般質問

市議
の

市
の

A

Q
&

一般質問とは？

YouTube
始めました！



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」から見ることもできるほか、YouTubeでも配信しています。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

A.

江津高校と青陵中学校を中等教育学校に再編した場合、青陵中学校の空き校舎を西部統合小学校に利用できないか。
西部統合小学校の保護者や地域への説明会において、施設については新築と説明してい

Q.

江津高校と青陵中学校を中等教育学校に再編した場合、青陵中学校の空き校舎を西部統合小学校に利用できないか。

A.

県から高等学校存続にあたって、検討したいとの話があれば関係課と協議する。

Q.

学力向上や、県外からの学生を集めることで、高校を存続させることができるのではないか。

A.

校区の設定や他の学校への影響、学校給食の取り扱いなど、再編には困難な課題がある。

Q.

A

困難な課題が多数ある

Q

市内小・中・高等学校の再編は



江津高等学校

A.

第2次学校整備再編基本計画を改定する必要があり、子どもたちのより良い教育環境と持続可能な規模について、義務教育学校も選択肢の一つとして様々な方策を検討していく。

Q.

桜江小学校と桜江中学校、江津東小学校と江東中学校の義務教育学校（小中一貫校）への再編は。

るので理解が得られない。



寺前 克宏

Q 市長としてどのような江津にしていきたいのか

A 小さくとも一層キラリと光るまちづくりを目指す



河野 正行

Q どのような人口減少対策を行うのか。

A 前例や常識にとらわれることなく、的確な対策を迅速に講じ続ける。また、人口の増減に注目するだけでなく、市民一人ひとりの生活の質の向上にも同時に取り組む。

Q 学校教育については、どう進めるか。

A ふるさと・キャリア教育のさらなる推進に努める。また、一人ひとりのニーズに応じた教育を充実する。学校施設の老朽化への対応として、西部統合小学校の早期建設を進める。

Q 地域公共交通の今後の進め方は。

A 新たな地域公共交通計画を策定する。



新江津市長

A.Q 子育て支援の進め方は。

家庭・地域・行政が一体となつて、精神的な不安や負担感を軽減する施策を充実する。また、子育て家庭が様々な人々との交流や見守り、支えを得ながら、子育てに対する不安や負担感を軽減し、安心して子どもを産み育てる地域づくりを進める。小さい町だからこそできる顔の見える関係を強みとして、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援を行い、一層事業を充実させる。

Q 市内全域をカバーする新しい生活交通の導入を

A 交通事業者を含めた公共交通会議の全会一致が必要



多田 伸治

Q 市民の生活交通への要望を市長は把握しているか。

A 地域公共交通網対策が必要と認識している。

Q 現状の生活交通の施策をどう認識しているか。

A 交通空白地域の解消へ取り組みが必要があると認識している。

Q 令和4年度策定の地域公共交通計画へ、新たな施策を盛り込むつもりはあるか。

A 住民と協議し、計画を策定する。多田議員の言う「乗合タクシー」もひとつの手段と考える。

Q 交通空白地域だけでなく、市内中心部でも生活交通の要望がある。新しい計画に市内全域をカバーする施策が盛り込まれるか。

A 本市の公共交通会議は全会一致

令和3年度での生活交通バスの利用状況

運行区間	1日あたりの乗車人数
江津市生活路線 井沢峠一跡市バス停	1.35
代替バス	
江津市生活バス	
【鹿賀線】鹿賀団地一桜江総合センター	1.00
【三田地線】三田地上一川戸	0.22
【今田線】川戸一今田経由一応儀医院前	1.42
【長戸路線】長戸路集会所一桜江総合センター	0.04
【谷線】上谷一桜江総合センター	0.69
【下の原線】下の原一桜江総合センター	0.24
【市山線】川戸一応儀医院前	2.15
【江尾線】川戸一日和川橋	1.47
江津市生活バス	
【川平線】後谷一川平	3.16
（江津中部地域）	
【松川波積線】波積町本郷一川平	5.11
【江津川平線】川平一ゆめタウン江津前	8.14
江津市生活バス	
（有福千田線）	
本明一跡市バス停	17
江津市生活バス	
（長谷線）	
風の館一川戸	0.71
長谷地区	
長谷一川戸	2.00
相乗りタクシー	

※決算資料より作成

Q 交通事業者へ彼らにも利益となるアイデアを出すよう、市長から積極的働きかけられないか。

A この場ではつきりと言えないが、市長を先頭に取り組む。

が必要。従来より利用しやすい公共交通網構築へ、交通事業者・行政・住民との合意形成を図る。

Q

「ふるさとキャリア教育」
「教育の魅力化」の現状は

A

市内各学校が地域と連携を
図りつつ取り組んでいる



森元 健二

Q

江津市教育大綱にある校種の壁を越えた一体的、系統的な教育活動を展開するなかで課題は。

A

毎年の積み上げにより身につけさせたい力は深まっているところだが、各学校により取り組みが異なるため中学校入学時や高校入学時に生徒が身につけた力にばらつきがあるという声は聞いている。このため、市内の小・中学校の卒業時には全生徒が同じように平準化して力が身につけているよう、各学校の取り組みの情報共有について検討をしている。

Q

小・中学校で展開されたふるさと・キャリア教育を高校につながることにしているか。

A

県立学校GO▼GOTSUNO



地域活動に取り組む高校生

ンソーシアムの各学校と地域の連携の中で、市内の小・中学校との連携が可能であれば対応したい。また、中学校側からも生徒のキャリアを考えた際に高校との連携は有意義であると認識をしている。いずれにしても、市内の小・中学校はもちろん、市内県立高校の現場の声を各事業のコーディネートを通じて丁寧に酌み取り、各事業が連携できるよう今後も検討したい。

Q

市民が切望する
新しい図書館の早期整備を

A

できるだけ早期に進められる
よう努力する



森川 佳英

Q

令和3年12月にも質問したが、新図書館整備の進捗は。動きはない。建設時期が決まれば、市民の意見も聞き進める。

A

市長は江津市図書館の現状をどう認識しているか。

Q

江津市図書館は、県立図書館を除く県内公共図書館で最も古く、県内8市では最も手狭な図書館。職員が創意工夫のもと運営しているが、現在の施設では市民の図書館ニーズに対応できない。

A

A.Q

新図書館建設への課題は。

本の配列・閲覧席・貸出・調べものをサポートするサービスなどを提供する十分な床面積の確保、アクセスしやすく、駐車スペースも含めた十分な敷地の確保、高齢者・障がい者・

Q

市民が求める新しい図書館整備を、市長はいつ実現させるか。

A

できるだけ早期に建設整備を進められるよう努力する。



江津市図書館

Q 都治川流域治水の進捗は

A 完成間近の波積ダムで
洪水からの安全を確保



石橋 孝義

Q 都治川の中・下流域での堆積
土の浚渫、樹木伐採は。

A 松川町の上河戸・下河戸は、
令和4年度出水期以降で計
画している。都治町内は適切
な維持管理、被害軽減のため、
継続して県に要望する。

Q 江の川からのバックウォー
ター対策は。

A 下流域のハード対策は県と
本市でアンケート調査済み。
県において対策案を検討中
である。

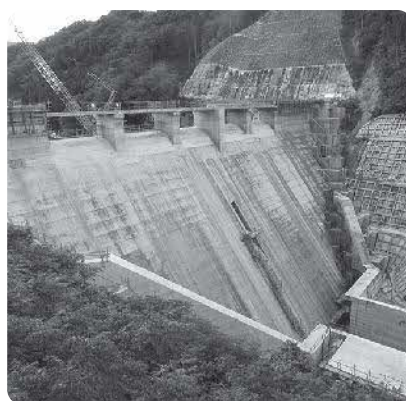
【地域公共交通】

Q 高齢者を含め、交通弱者に対
するきめ細やかな地域公共
交通対策は。

A 令和4年度に地域公共交通
計画を策定し、交通弱者に対
する取り組み・交通空白地域



上河戸地内堆積土・立木



波積ダムの進捗

解消を掲げた上で、具体的対
策を講じる。

Q マイナンバーカード
交付率向上の計画は

A ラッピングカー導入でどこでも
交付申請ができるように計画



下谷 忠広

Q 市長の目指すデジタル社会
とは。

A 令和4年度を始期とする第6
次行財政改革では、DXの推
進を中心に据えたスマートシ
ティの実現を目標としている。

Q DX推進事業の状況は。

A 江津市DX推進計画を令和
4年3月に策定。情報システ
ムの標準化・共通化や行政手
続きのオンライン化を推進し、
令和4年度中に子育て関連の
15手続き、介護関連の11手続
きの計26手続きをオンライン
で可能にする。

DXとは？

デジタル・トランスフォーメーションの略。
デジタル技術を浸透させることで、人々
の生活をより良いものへと変革すること。



マイナちゃん

Q 高齢者へのスマートフォン
普及を。

A 地域コミュニティで出張スマ
ホ教室を実施したところも
ある。こういった地域の取り
組みを今後も支援していき
たい。

Q 人口減少対策では「関係人口」の増加を意識した取り組みを

A 関係人口創出・増加は重要
本市全体で取り組む



植田 圭介

Q 地域と関わり定住も期待される「関係人口」増の取り組みは。

A ビジネスプランコンテストやしまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっちー」の活用がある。有福温泉活性化事業などの事業でも、関係人口増が期待でき、今後も意識して取り組む。

Q 人口減少対策として、企業版ふるさと納税制度活用を。

A 周知と活用促進に努める。



ハード整備が進む有福温泉

【ICT(情報通信技術)の推進】

Q ICTの推進状況は。

A 市内全域の光ファイバ網整備が令和3年度に完了。ICTを活用できる人材育成として、教育現場ではタブレット端末での学習を進めている。大人には出前講座などで学習機会確保に努める。

【eスポーツ】

Q eスポーツの政策活用を。

A eスポーツは産業・観光・福祉・健康・教育など多様で複合的な活用ができる。本市としても必要に応じて環境整備を検討する。

「eスポーツ」とは

エレクトロニック・スポーツの略。電子機器を使った競技性が高いゲームをスポーツとして捉えたもの。

Q 国民スポーツ大会でのラグビーの開催招致を

A 前向きに議論を重ねている

Q 本市で国民スポーツ大会の競技を開催する意義は。

A スポーツ関係者や自治体と地域が一丸となって準備・運営を図るものであり、地方でのスポーツの振興と競技力の向上、市民の健康増進、そして交流人口の増加や文化の発展に大きく寄与する。

Q 健康増進に向け、医療・介護・福祉との連携や創意工夫で、生涯スポーツの振興を。

A 健康増進に向け、医療・介護・福祉との連携や創意工夫で、生涯スポーツの振興を。



島根かみあり国スポ・障スポ
(提供：島根県)

A 自分のライフスタイルや興味に応じたスポーツに取り組むことで、健康の増進や生きがいにつながる。生涯スポーツの普及啓発を関係機関にも積極的に働きかけ、連携も深めたい。

【地域人口ビジョン】

Q 中山間地域の少子化が進む中、現在の地域人口ビジョンは、手法が拙速で長期的な地域人口の安定を見通していない。各地域コミュニティ組織と共に外部人材を入れ、改めて策定を。

A 第2期総合戦略を内包している第6次総合振興計画は、令和6年度で計画期間折り返しとなる。それを目途に、各地域の実情を加味した推計の策定を検討したい。



森脇 悦朗

Q

感染拡大と物価高騰に対応した
事業者への経営支援を

A

状況を見極めながら
必要な支援策を講じていく

A.Q.

農業経営に支援を。

国は施設園芸農家に補填単価の引き上げによる燃油価格高騰対策や、異常補填の発動基準の引き下げによる配合飼料価格安定制度の拡充、肥料の新たな緩和対策を行う。

県は農業用ハウス整備などのハード支援や、生産者へ経営安定に向けた融資制度や飼料高騰対策を実施。

JAしなほは、肥料と飼料の購入額の一部を返金する事業を実施。物価高騰がいつまで続くのか見通せない中、特に新規就農者や規模拡大を目指す農業者などの経営継続に向けて、コスト削減への取り組みを、関係機関と連携を図りながら農業者に取り組んでもらい、物価高騰の影響を受けにくくしていくことが重要であると考えている。

A.Q.

商工業への支援を。

市民による消費活動を活性化させることで、売上げの向上を図る「ごうつ地域応援券事業」を再び実施し、物価高騰による影響を踏まえ、1人あたりの配付金額を当初の3000円から5000円へ増額しており、11月の利用開始に向けて事務手続きを進めている。



ごうつ地域応援券



山根 兼三郎

Q

公衆トイレの衛生管理用掃除
マニュアルや実施状況の確認は

A

マニュアルは未策定、業務委託契約者の実績報告書で確認

Q.

市内公衆トイレの簡易水洗トイレへの移行についての認識は。

A.

環境・衛生・管理の面から水洗化が理想。地域によって解決すべき問題は異なるが、公衆トイレの存在は極めて重要で、汲み取り式の解消が望ましい。

Q.

市内海水浴場のトイレの環境整備は。

A.

波子は島根県が指定管理者へ委任。黒松・浅利は江津市観光協会が地元へ委託。老朽化が著しいことは承知しているが、現時点で修繕の予定はない。

Q.

有福温泉の集客を望むには、公衆トイレが少ないのでは。

A.

街なみ環境整備事業で湯町が新たに生まれ変わる。道路や河



坂田 優美

川の修景などとともに、公衆トイレのあり方も検討したい。

【JR三江線跡地の管理】

Q. 廃線後の跡地管理を怠れば、有害鳥獣の棲み処となり、住民の生活が脅かされる。対策は。

A.

譲渡を受けた施設以外はJRの所有であり同社が管理。害獣の捕獲は周辺の安全性を確保した上で、本市が罠を設置するなど、要望に応じて対応する。



JR三江線の跡地

Q

第7波のコロナ感染が
拡大した要因の分析は

A

オミクロン株は感染力が強く
県内外の移動の緩みが影響した

Q

オミクロン株対応ワクチン
の接種時期は。

A

10月中旬に全対象者の接種
開始で協議している。児童・乳
幼児の接種は、感染状況やワ
クチンの有効性を踏まえて準
備したい。

Q

平成8年比で感染病床は
18%まで削減され、保健所も
ほぼ半減。医療提供体制が弱
まる中で、本市の医療体制の
充実の課題は。

A

済生会江津総合病院や医師会
の尽力で維持されている。県に
は医師確保を訴えていく。

A.Q

ひとり親家庭などへ支援を。
国の基準で支給しており、さ
らなる支援は考えていない。

【畜産臭気問題】

A.Q

臭気の検査の実施状況は。
年2回6地点で実施。8月に
2カ所で環境基準を超えたが、
人体に影響する値ではない。

A.Q

地域共生のため臭気対策を。
老朽施設の更新や噴霧ミスト
装置の設置などで臭気抑制に
取り組まれている。今後も連
絡を密にし、適切な対応を求
めていく。



臭気対策の噴霧ミスト装置



植田 好雄

特別委員会を開催しました

江の川流域治水対策特別委員会

8月9日、江の川中下流域マスタープランなどについて本市事業推進課および江の川流域治水推進室より説明を受けました。

松川町太田・川平町田野・谷住郷大口・川越渡田の現地調査をしました。各地域のまとまり具合、どういった要望が出ているのかなどの質疑がありました。今後も進行具合を議会でも確認していきます。



地域医療対策特別委員会

8月10日、済生会江津総合病院より田中支部長、来原事務部長、榎野参事、西部島根医療福祉センターより中寺院長、中田事務長にお越しいただき、それぞれの業務・概要の説明を受けました。問題点で共通するのが医師不足、医師の高齢化などです。医師確保では、学生・研修医が来ないことが課題として挙げられました。質疑において「地域枠で医師を目指した学生はどれくらいいるのか」という問いに、6人との回答でした。

その他ホームページでのブランディングなどの質疑がありました。済生会江津総合病院・西部島根医療福祉センターはそれぞれ特色があり、本市になくてはならない病院です。これからも市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

第14回 議会報告会

〈開催日程〉

- **11月12日(土) 10:00～11:30**
江津本町薨街道交流館
- **11月12日(土) 15:00～16:30**
浅利地域コミュニティ交流センター
- **11月19日(土) 10:00～11:30**
波子地域コミュニティ交流センター
- **11月19日(土) 14:00～15:30**
市山地域コミュニティ交流センター

// ご来場お待ちしております。 //

島根県市議会議長会議員研修会

8月2日ビッグハート出雲にて開催されました。「データの利活用による地域の諸課題の解決」と題して、総務省統計局 長藤洋明氏による講演。次に「島根県におけるアフターコロナの観光地づくり」と題して、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部准教授 篠原靖氏の講演が行われました。取り巻く環境は刻々と変化している中で、公的統計をはじめとする様々なデータを活用した、証拠に基づく政策立案の重要性。またアフターコロナを見据えた観光による関係人口の創出と地域ブランドの確立に向けた取り組みについて学びました。



次回12月定例会

請願・陳情締切／11月22日午前中まで

日	月	火	水	木	金	土
11/20	21	22	23	24 委員会 (議会運営) 9:30～	25 全員協議会 9:30～	26
27	28	29	30 委員会 (議会運営) 15:00～	12/1	2 本会議 10:00～	3
4	5	6 議員連絡会 9:30～	7	8 本会議 (一般質問) 10:00～	9 本会議 (一般質問) 10:00～	10
11	12 委員会 (総務民生) 9:30～	13 委員会 (建設経済) 9:30～	14 委員会 (予算決算) 9:30～	15 情報交換会 9:30～	16	17
18	19 本会議 14:00～	20	21	22	23	24

※開始時間等は予定です。

議会を傍聴しよう
江津市議会では皆さんの傍聴を待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議場へお越しください。

議会へ参加しよう

市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することが出来ます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。

お気軽にご相談ください。

■編集・発行責任者

議長 藤間 義明

■市議会だより編集特別委員会

委員長	坂手洋介
副委員長	下谷忠広
委員	森元健二
委員	植田圭介
委員	渡辺信明
委員	鍛冶恵巳子
委員	多田伸治

市議会だよりは
こちらから



江の川祭が今年3年ぶりに開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して実施されました。本市での感染者数もなかなか落ちません。そしてインフルエンザ流行の季節にもなつてまいりました。

もう一度、感染対策の基本「マスク着用」「手洗い」「3密防止」に努めてまいりたいと思います。そして、ワクチン接種も10月からは、オミクロン株対応の接種になっております。可能なら受けていただき、新しい生活様式を模索しながら経済活動を続けていく。市民の皆さんが安心・安全な生活が続けていくよう、市議会も取り組んでまいります。

編集後記